

JOC ジュニアオリンピックカップ
第42回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会
要 項

2018年10月28日
2018年12月23日修正

1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟(以下「本連盟」という。)

2. 共催

軽井沢町

3. 後援(予定)

長野県 長野県教育委員会 公益財団法人長野県体育協会 軽井沢町教育委員会 軽井沢町スポーツ協会
軽井沢観光協会(軽井沢ウインターフェスティバル実行委員会)

3. 主管

長野県スケート連盟

4. 会場

風越公園スケート場

長野県北佐久郡軽井沢町 TEL:0267-48-5555

※競技会に関することは、会場への問い合わせをしないこと。

5. 競技距離

(1) 総合得点競技

女子 500m 1000m 1500m 3000m

男子 500m 1000m 1500m 5000m

(2) 距離別競技

女子 500m 1000m 1500m 3000m マススタートレース(10周)

男子 500m 1000m 1500m 5000m マススタートレース(10周)

(3) 団体競技

女子 チームパシュートレース(6周) チームスプリントレース(3周)

男子 チームパシュートレース(8周) チームスプリントレース(3周)

6. 日程

2019年1月11(金)

公式練習

9:00-10:30、10:45-12:15 (スタートトライアル 9:30-10:15、11:15-12:00)

代表者会議及び抽選

17:00 (風越公園スケート場)

2019年1月12日(土)

ウォームアップ

7:00-7:40、7:55-8:30

オープニングセレモニー

8:45 (リンクホームストレート掲揚台前)

競技開始

9:00 ①女子500m ②男子500m ③女子1500m ④男子1500m

公式練習

競技終了後30分

2019年1月13日(日)

ウォームアップ

7:00-7:40、7:55-8:30

競技開始

9:00 ①女子1000m ②男子1000m ③女子3000m ④男子5000m

⑤女子マススタートレース準決勝 ⑥男子マススタートレース準決勝

公式練習

競技終了後30分

2019年1月14日(月)

ウォームアップ

7:00-7:40、7:55-8:30

競技開始

9:00 ①女子チームパシュートレース ②男子チームパシュートレース

③女子チームスプリントレース ④男子チームスプリントレース

⑤女子マススタートレース決勝 ⑥男子マススタートレース決勝

閉会式

派遣選手選考委員会終了後

7. 競技方法

- (1) 本競技会は、距離別競技（マススタートレース（以下「MSR」という。）を除く当該の4距離の得点をもって総合得点競技も併せて行う。）及び団体競技とする。
- (2) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟スピードスケート競技規則（以下「ISU規則」という。）、本連盟スピードスケート競技規則に従って実施する。
- (3) トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、チームパシュートレース（以下「TPR」という。）及びチームスプリントレース（以下「TSR」という。）についてはシングルトラック、MSRについては、アップレーンを含む全面を使用する。
- (4) 1000m以上の距離にカルテットスタート競技方法を採用することができる。
- (5) MSR、TPR及びTSRを除く各距離における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項についてはISU規則第239条2項に従う。
 - ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成
 - ① 距離ごとに、参加申込みが受け付けられた競技者（以下「参加競技者」という。）について、本連盟が公表した当該距離の2018年3月25日時点の記録（ただし、カルガリー及びソルトレークシティで樹立されたものを除く。以下「前年度記録」という。）又は当該距離の2019年1月6日時点の記録（ただし、カルガリー、ソルトレークシティ又はウルムチで樹立されたものを除く。以下「本年度記録」という。）のよい方（以下「ベストタイム」という。）の順位によって順位付ける。
~~② ベストタイムのない参加競技者については、①までのランキングの最下位に続けて、抽選により順位付ける。~~
 - イ) 組合せ及び滑走順
 - ① MSRを除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、ア)によって編成されたランキングの上位の競技者から2名ずつ組み合わせる。
 - ② スタートレーンは、上位の者をインレーンとする。
 - ③ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。
 - ウ) 抽選後の棄権
 - イ)の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU規則第245条1項・3項・4項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。
- (6) 各距離及び総合得点競技の最終順位はISU規則第265条、第268条及び第275条に従って決定する。
- (7) MSRの競技方法は、以下のとおりとする。
 - ア) MSRの競技方法は、ISU規則第253条4項b)に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット（ショートトラック競技の基準に適合するもの）、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい（詳細は、ISUコミュニケーションNo2038を参照）。
 - イ) 参加競技者が30名を超えた場合は準決勝を行い、その各組の上位から同数を選出して30名を決定する。
 - ① 組の編成は、1500mのベストタイムに従って必要な組に配置する。
 - ② 決勝に棄権者が生じた場合であっても、準決勝からの繰り上げはしない。
 - ウ) スタートは、参加競技者が1列に最大6名が整列して行う。参加競技者の並び順は、1500mのベストタイムに従って順位付けたランキングの最上位者を先頭として、順次、同順位に従って整列する。
 - エ) 2回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第1に、中間スプリントと最終のスプリントの合計により決定し、第2に第1に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の決定については、ISU規則第265条6項に従う。
- (8) チームパシュートレースの組合せ手順及びスタート順
 - ア) 同一所属で編成されたチームは1500mの結果に従って次によりシードする。
 - ① 当該距離に2名以上が出場しているチーム：2位のスケーターの順位
 - ② 当該距離に1名のみが出場しているチーム：そのスケーターの順位
 - イ) 所属チーム以外のチーム編成はそれぞれの1500mの順位に基づいて上位から3名ずつ編成する。この場合、1500mの順位のない者は抽選で前段に続く。
 - ウ) 各組のスタート位置は順位の上位チームをフィニッシュライン側とする。組のスタート順はシード順とは逆に下位の組からとし、最上位のチームを最終組とする。
 - エ) チームの3番目のスケーターのフィニッシュタイムに従って順位を決定する。
 - オ) 以下、ISU規則第243条3項、261条1項及び265条の5項参照
- (9) チームスプリントレースの組合せ手順及びスタート順
 - ア) 同一所属で編成されたチームは1000mの結果に従って次によりシードする。
 - ① 当該距離に2名以上が出場しているチーム：2位のスケーターの順位
 - ② 当該距離に1名のみが出場しているチーム：そのスケーターの順位
 - イ) 所属チーム以外のチーム編成はそれぞれの1000mの順位に基づいて上位から3名ずつ編成する。この場合、1000mの順位のない者は抽選で前段に続く。

- ウ) 各組のスタート位置は順位の上位チームをフィニッシュライン側とする。組のスタート順はシード順とは逆に下位の組からとし、最上位のチームを最終組とする。
- エ) チームの3番目に割り当てられたスケーターのフィニッシュタイムに従って順位を決定する。
- オ) 参加選手はヘルメットを着用すること。
- カ) 以下、I S U規則第243条3項、261条3項及び265条の7項参照

8. 表彰

- (1) 総合得点競技の総合選手権者にカップ(持ち回り)、メダル及び賞状を、2位及び3位の者にメダル及び賞状を、4位から6位までの者に賞状を授与する。
- (2) 距離別競技の1位から3位までの者にメダル及び賞状を授与する。
- (3) 団体競技にあっては、同一所属チームの1位から3位までにメダル及び賞状を授与する。

9. 参加資格

- (1) 本年度の本連盟登録競技者で、I S U規則第108条第1項d)に定めるジュニア対象年齢(1999年7月1日以降かつ2004年6月30日以前に生まれた者をいう)の者。この場合、次の表に掲げるタイム以上のベストタイムを有する距離にのみ参加することができる。

	500m	1000m	1500m (MSR)	3000m/5000m
女子	45,00	1.32,00	2.22,00	5.03,00
男子	39,50	1.21,00	2.05,00	7.35,00

- (2) 本連盟スピード部委員会が特に認めた者
- (3) 追加有資格者
本競技会参加申込締切後、競技初日の10日前までに終了した競技会において、前記(1)のいずれかのタイム以上を樹立した者は、その距離の参加資格を取得する。

10. 参加制限

- (1) 総合得点競技にあっては、全ての距離の参加資格タイムを保有する者とする。
- (2) 距離別競技にあっては、参加資格タイムを保有する距離のみとする。
- (3) 団体競技にあっては、参加申し込みをしている同一所属のチームとする。ただし、同一所属でチーム編成ができない場合は、参加申し込みをしている全ての者を対象とし、代表者会議で参加の有無を確認する。

11. 参加申込

- (1) 参加資格を有する者にはJSFマイページ(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)の競技会参加申込サイト(以下、「サイト」という。)で、追加有資格者(9.参加資格(3)に該当する者)は所定の様式(別紙1)で申込みこと。
 - ア) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し、参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理通知(以下、「受理通知」という。)を受け取る。この場合、受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
 - イ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は、参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
 - ウ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、前記ア)同様に受理通知を受け取る。 (サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)
 - エ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書(別紙3)を提出すること。
 - オ) 大会事務局
〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町大字発地 1154-1 軽井沢アイスパーク内
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会事務局
TEL : 0267-48-5555 FAX : 0267-48-5589 E-mail : icepark@kazakoshi-park.jp
本連盟事務局
〒150-8050 (公財)日本スケート連盟 (郵便番号の記載により、住所の記載は不要)
TEL : 03-3481-2351 FAX : 03-3481-2350 E-mail : jsf@skatingjapan.or.jp
- (2) 参加申込料は、参加申込者名の銀行振込みで納入する(銀行振込に限る)ものとし、振込手数料は申込者の負担とする。ただし、複数の申込者の参加申込料を一括して納める場合は、参加申込料振込明細書(別紙2)を大会事務局へ送付すること。
 - ア) 参加申込料 1名 1距離 5,000円、3距離以上15,000円
 - イ) 振込先
金融機関名 : 八十二銀行 中軽井沢支店
口座番号 : 普通 529513
名義人 : 全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 事務局 寺島乾士(テラシマケンジ)

- ウ) 参加申込締切日後はいかなる場合も納められた参加申込料を返還(未納者にあつてはこれを徴収する)しない。ただし、他の競技会の成績で日本代表に選考されたことにより本競技会に参加できなくなった者はこの限りではない。
- エ) 前記(2)ウ)に該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。

(3) 参加申込締切

参加有資格者 2018年12月19日(水) 正午 ※受付開始 2018年11月20日(火)

追加有資格者 2019年1月3日(木) 正午

(4) 参加申込にかかる添付書類

ア) 中学生以下の者にあつては、サイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書を、代表者会議までに大会事務局へ提出すること。

イ) 追加有資格者は参加申込時に大会事務局へその記録を証明できる書類を送付すること。

(5) 参加申込が遅延した者(参加申込締切日までに参加申込料が納入されていない者を含む。)又は参加申込書が不完全な者は本大会への参加を認めない。

(6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

12. 宿泊

各自で手配すること。

13. その他

(1) 本競技会中(7.の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。

(2) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。

(3) 本競技会の成績は、次の競技会への派遣選手選考の対象とする。

ア) 2019世界ジュニアスピードスケート選手権大会

イ) 2018/2019 I S Uジュニアワールドカップスピードスケート競技会最終戦

(4) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。

(5) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。